

| | | | | | |
|------|---|-----|------------|-----|-------|
| 学校番号 | 2 | 学校名 | 静岡視覚特別支援学校 | 記載者 | 鈴木 隆臣 |
|------|---|-----|------------|-----|-------|

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

| | 取組目標 | 成果目標 | 自己評価 | 関係者評価 | 意見 |
|----------------|--|--|------|-------|--|
| ア 主体的な授業・生活 | ○幼児児童生徒が、自ら課題に向かい 主体的に学ぶ授業・生活づくり | ○適切な実態把握と学習等の系統性を踏まえた目標設定による授業及び指導実践 90%以上 | A | A | ・新学習指導要領を見据えた取り組みを考えてほしい。 |
| | | ○授業、活動が分かった、もっとやりたいと満足感、達成感を味わえた幼児児童生徒 90%以上 | A | A | ・今後、外国語活動やICT教育の充実が必要である。 |
| | | ○互いの意見を尊重し合い、課題意識を持って、主体的に授業に取り組めた幼児児童生徒 90%以上 ○居住地校交流の計画的な実施。他校との交流及び共同学習の実施。幼児児童生徒の総体験回数 3～5回 | A | A | ・地域とのつながりは大変重要である。社会に開かれた教育課程を見据えて、地域との連携をさらに深めていく必要がある。 |
| | ○幼児児童生徒が、 将来の夢や希望をもって 、生き生きと活動できる場の創出 | ○計画的な進路学習会、職場体験実習の実施。生徒の満足度 90%以上 ○係活動における幼児児童生徒の成就感、達成感 90%以上 | A | A | ・卒業後に向けて生活力を実体験を通して高めていく必要がある。 |
| | | ○外部人材を活用した授業・生活づくりの実施。各学部、寄宿舎での実施合計4回以上 | A | A | ・特になし |
| | | ○体育等、運動ができる環境における主体的に取り組んだ幼児児童生徒の割合 90%以上 | A | A | ・特になし |
| | | ○音楽、図工美術、作業学習の授業の満足度 90%以上 | A | A | ・特になし |
| | | ○進路の理解が高まったと答えた保護者 90%以上 ○進路学習会等の情報発信の実施 計画通り 100% | B | B | ・幼児児童生徒、保護者が卒業後の具体的なイメージが持っていない。引き続き、積極的に情報を発信してほしい。 |

| | 取組目標 | 成果目標 | 自己評価 | 関係者評価 | 意見 |
|--------------------|--|--|------|-------|---|
| イ 命を大切に する環境 | ○幼児児童生徒が、自分や他の人の命、動植物や物を大切に する心の育成 | ○「学校、寄宿舎が楽しい」と答えた幼児児童生徒 90%以上 | A | A | ・将来について明るい希望やイメージが持てるような工夫をしていきたい。 |
| | | ○各学期途中で自己の言動を振り返るチェックシートを実施し、振り返る場を設定する。 100% | B | A | ・特になし |
| | | ○動植物とのかかわりの場の設定 100% ○自分から準備、片づけをする幼児児童生徒 100% | A | A | ・特になし |
| ウ 専門性の 発信 | ○発達段階に応じた自立活動の指導の充実 ○視覚障害の特性に対応した教科指導力の向上 | ○校内や校外の人材を活用した授業支援の充実。 各学部、寄宿舎での実施 100% ○外部研修を生かし、障害の特性に応じ教育実践をした教職員 90%以上 | A | A | ・特になし |
| | ○地域における視覚障害教育のセンター的機能の充実 | ○受信者のニーズを意識した資料提供及び支援活動 満足度 90%以上 ○ホームページ等の情報提供 月1回以上 ○キャンペーン活動の実施 100% | B | B | ・卒業後の支援体制（セーフティネット）を地域と連携して構築していくことを考えたい。 |